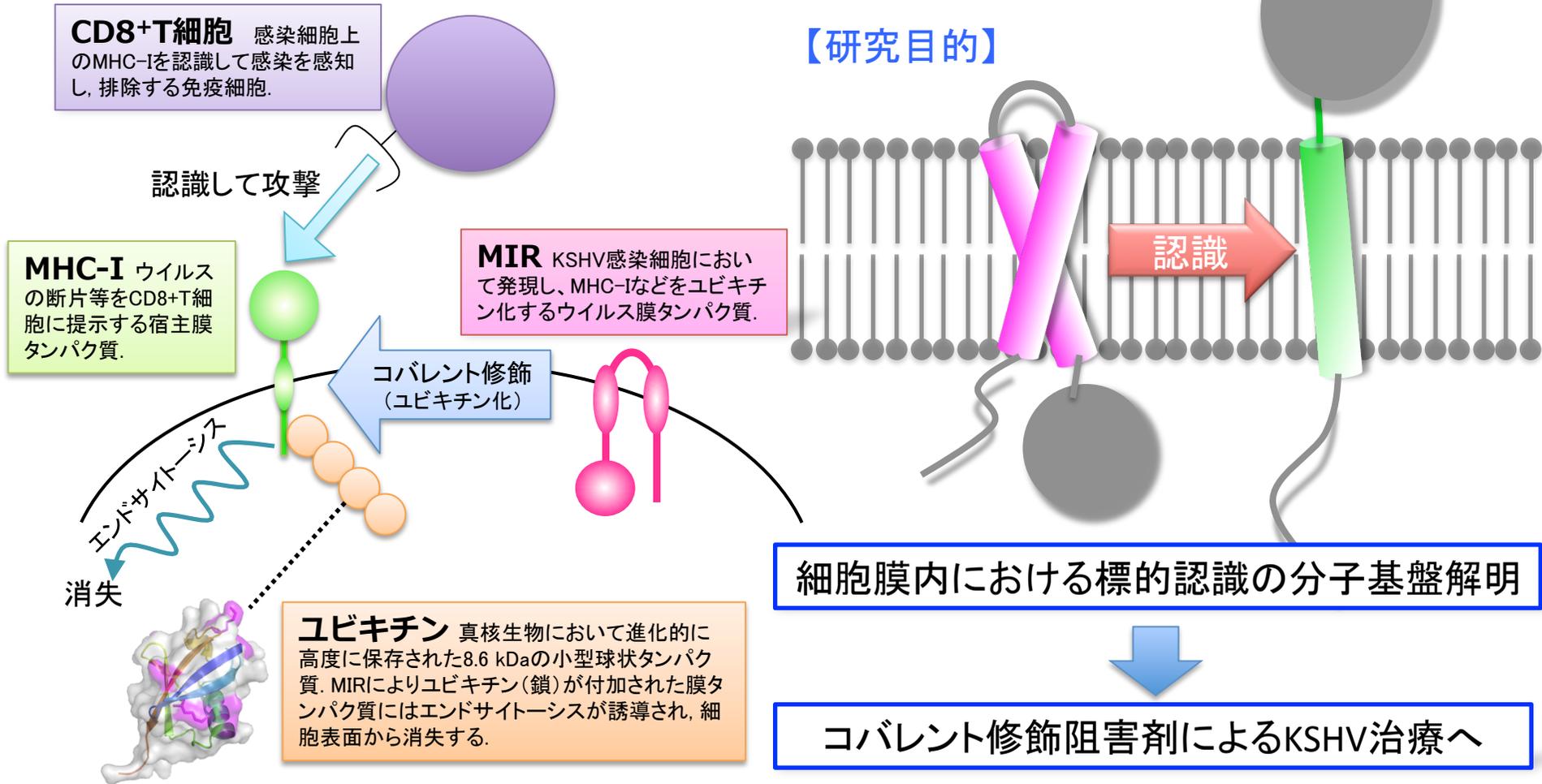


コバレント修飾により宿主免疫を回避する ウイルス膜型ユビキチンリガーゼMIRの阻害法開発



カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス (KSHV) は感染細胞においてユビキチンリガーゼMIRを発現し、MHC-Iなどの免疫関連タンパク質をコバレント修飾 (ユビキチン化) して細胞表面から消失させ、免疫細胞の監視を回避する。本研究ではMIRが細胞膜内でMHC-Iを認識する分子基盤をベースに、MIRによるコバレント修飾を阻害する方法を開発する。